

【第 1 期】三次市まち・ひと・しごと創生総合戦略

効 果 検 証

1. はじめに

本市では、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、平成 27 年 10 月に三次市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、人口減少・少子高齢社会への挑戦を目標に掲げ、第 2 次三次市総合計画に基づいて進める施策のうち、まち・ひと・しごとの創生につながるものに特化し、計画期間を平成 27 年度から令和元年度までの 5 年間として、戦略的に取組を進めてきた。そして総合戦略を実行するにあたり、5 つの数値目標と 29 の K P I（重要業績評価指標）を設定した。

これらの指標や具体的な取組に基づき、第 1 期総合戦略の計画期間における効果検証を行い、第 2 期総合戦略の策定に活用する。

2. 効果検証（概要）

しごとの創生

□基本目標：「豊かな地域資源とネットワークを活用した仕事づくり」

基幹産業である農林畜産業を将来にわたって持続可能とする「農林畜産業の振興」、人材育成や起業支援、企業誘致と市内企業の支援をする「商工業の振興」、三次の観光のかじ取り役の三次版DMOの設立と、三次にある資源を活かしてにぎわいを創出する「観光・交流の推進」の3つを定め、基本施策を設定し取組を進めてきた。

基本目標	数値目標	基準値	目標値	実績値			現在値		進捗 ①目標達成・進捗中 ②効果不十分 ③その他 (把握困難)
		基準値 (実績)	目標値 (H31目標)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31(R1)実績	
豊かな地域資源とネットワークを活用した仕事づくり	市内総生産額 (農林水産業)	80億4,100万円 (H24) (発表当時)	83億3,300万円	62億3,300万円 (H27) (H30.3発表時)	66億4,400万円 (H28) (R1.8発表時)	—	—	—	②
	市内総生産額 (商工業)	1,830億1,400万円 (H24) (発表当時)	1,938億2,300万円	1,838億8,600万円 (H27) (H30.3発表時)	1,731億2,900万円 (H28) (R1.8発表時)	—	—	—	②

■効果検証

基本目標の数値目標については、現時点では、2件とも目標達成に向けた政策効果が十分に発現していない。なお、この数値目標は、毎年2年前の数値が発表されるため、H28実績が現在値となる。

□基本施策

基本施策	KPI	基準値	目標値	実績値			現在値		進捗 ①目標達成・進捗中 ②効果不十分 ③その他 (把握困難)		
		基準値 (実績)	目標値 (H31目標)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31(R1)実績			
農林畜産業の振興	①-1 専業農業等の追求	認定農業者数・認定新規就農者数	130人 (H26)	180人	138人	137人	136人	129人	—	②	
		果樹・花き農家数	139戸 (H26)	150戸	118戸	113戸	110戸	110戸	106戸	—	②
		みよしブランド認定品目数	—	40件(累計)	21件	24件	26件	26件	26件	—	②
①-2 小さな農業の推進	販売拠点への出荷者数	960人 (H26)	1,200人	934人	905人	898人	820人	820人	—	②	
		①-3 豊かな森林資源の活用	木材の持込登録者数	—	50人(累計)	—	—	—	—	—	③
商工業の振興	②-1 起業支援と人材育成	起業件数	14件 (H26)	15件	16件	15件	14件	13件	—	①	
	②-2 企業誘致と企業等支援	三次工業団地3期の分譲率	20% (H26)	100%	⇒	100%	100%	100%	100%	—	①
観光・交流の推進	③-1 観光と交流によるにぎわいの創出	総観光客数	275万6,000人 (H26)	310万人	336万1,000人	339万4,000人	341万人	338万人	—	①	

■効果検証

KPIは、現時点では、8件中3件が目標達成に向けて進捗しており、目標達成に向けて一定程度進捗しているが、数値目標に対してまでは、その効果が発現していない。

◇具体的な取組内容と効果検証

【基本施策①：「農林畜産業の振興」】

①-1 専業農業等の追求

ア 担い手の育成・確保	○担い手育成・強化事業 認定農業者等育成事業，認定新規就農者機械等導入支援事業，認定新規就農者育成支援事業 新規就農者研修受入事業，【定住・交流】地域おこし協力隊事業 ○集落法人等新規雇用事業
イ 農業等生産力の向上	○農畜産物の生産力強化事業(農産物) 麦・大豆等生産振興推進事業，グリーンアスパラガス新規植栽支援事業，出荷野菜・花きハウス導入・かん水施設整備事業，振興作物産地化推進支援事業，果樹・花き生産振興支援事業 ○農畜産物の生産力強化事業(畜産)～みよし和牛酪農の里づくり事業～ 畜産経営支援事業，和牛改良推進事業，酪農経営支援事業
ウ みよしブランドの創出・育成	○【商工業】みよし産業応援事業((中小企業者等支援)三次産品ブランド化事業)

①-2 小さな農業の推進

小さな農業の推進	○6次産品化支援事業、みよし産業応援事業((中小企業者等支援)販路拡大支援事業) ○体験型観光促進事業(市外の小中学校による長期宿泊体験実施の環境整備ほか)、 田舎ツーリズム協議会活動支援
----------	--

①-3 豊かな森林資源の活用

木材の集約体制の構築	木材の集約体制の構築について、具体的な取組に至らなかった。
------------	-------------------------------

■効果検証

新規認定農業者の確保や農業集落法人の設立推進による農地集積の進展、トレッタみよしのオープンに伴う取組効果などがあったものの、高齢化を補うだけの担い手を確保することはできず、現時点では、K P Iは目標達成に向けた政策効果が十分に出現していない。

【基本施策②：「商工業の振興」】

②-1 起業支援と人材育成

ア 起業支援	○女性起業支援事業、 みよし産業応援事業((新規事業展開者支援)若者・シニア起業支援事業、 創意工夫ビジネス支援事業、地域産品開発支援事業)、 みよし産業応援事業((中小企業者等支援)空店舗出店支援事業、新規開業支援事業)、 みよし産業応援事業((商店街等支援)チャレンジショップ運営支援事業)
イ 次世代を担う人材育成	○職業訓練委託事業 ○高校生キャリア教育事業

②-2 企業誘致と企業等支援

企業誘致と企業等支援	○企業誘致推進事業、工場等設置奨励事業 ○みよし産業応援事業((中小企業者等支援)三次産品ブランド化事業) ○みよし産業応援事業((商店街等支援)商店街活性化支援事業、チャレンジショップ運営支援事業)地域活性化支援事業(まちゼミ)【H29】、経営支援設備投資事業、事業承継支援事業、融資 預託・利子補給事業(小規模事業者経営改善資金利子補給事業、中小企業融資支援事業)、 プレミアム付き商品券「三次藩札」発行事業 ○三次まると博物館事業「町家再生創造拠点化事業」
------------	--

■効果検証

起業支援により起業が進み、次世代を含めた人材育成も図りながら、三次工業団地への企業誘致活動を精力的に展開した結果、現時点では、K P Iは2件とも目標達成に向けて進捗している。

【基本施策③：「観光・交流の推進」】

③-1 観光と交流によるにぎわいの創出

ア 三次町の観光・まちづくり交流の推進	○三次まると博物館事業 「三次地区拠点整備事業」「三次町歴史的地区環境整備事業」「三次町小路美装化事業」 「まちなかギャラリー促進事業」「町家再生創造拠点化事業」
イ 体験型観光の推進	○田舎ツーリズム協議会活動支援 ○江の川カヌー公園さくぎ入浴施設整備事業
ウ 観光客の受入体制の強化	○三次版DMO事業 ○オール三次観光・交流キャンペーンstage2 ○観光宿泊者助成支援事業

■効果検証

中国やまなみ街道の全線開通を活かした取組を進めるとともに、本市の観光のかじ取り役を担う三次版DMO設立と三次町のにぎわい再生に重点的に取り組むことで、平成30年7月豪雨の影響は受けたものの、結果として、K P Iは目標を大幅に上回ることができた。

ひとの創生

□基本目標：「日本一の子育て支援，女性活躍促進と定住対策の推進」

結婚支援から子育て支援まで一貫して取り組みながら，子どもたちがふるさと三次に誇りと愛着が持てる教育などを実施する「子育て支援」，女性が輝くために，女性が働きやすい環境づくりや男女共同参画などを図る「女性の活躍促進」，そして若い子育て世代などから移住先として選ばれる「定住対策」の3つを定め，基本施策を設定し取組を進めてきた。

基本目標	数値目標	基準値	目標値	実績値			現在値		進捗 ①目標達成・ 進捗中 ②効果不十分 ③その他 (把握困難)
		基準値 (実績)	目標値 (H31目標)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31(R1)実績	
日本一の子育て支援，女性活躍促進と定住対策の推進	0歳から4歳の人口	2,077人 (H27.10.1)	2,160人 (H32)	2,056人 (H28.4.1)	1,973人 (H29.4.1)	1,848人 (H30.4.1)	1,826人 (H31.4.1)	1,817人 (R1.10.1)	②

■効果検証

基本目標の数値目標については，本市の総人口と同様に，目標数値に対して実績数値は右肩下がりとなり，未達成となった。

□基本施策

基本施策	KPI	基準値	目標値	実績値			現在値		進捗 ①目標達成・ 進捗中 ②効果不十分 ③その他 (把握困難)		
		基準値 (実績)	目標値 (H31目標)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31(R1)実績			
日本一の子育て支援	①-1 日本一の子育て支援	婚活事業への参加者数	300人 (H27見込)	600人	212人	234人	199人	224人	—	②	
		不妊治療後の母子手帳交付件数	10件 (H26)	15件	19件	9件	20件	26件	—	①	
		待機児童数	0人 (H26)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	①
日本一の子育て支援	①-2 ふるさとを誇れる教育と特色ある教育の推進	外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいと感じる児童・生徒の割合	小学校 66.8% (H27) 中学校 56.9% (H27)	小学校 80% 中学校 70%	小学校 66.8% 中学校 56.9%	小学校 68.3% 中学校 61.8%	小学校 68.4% 中学校 67.5%	小学校 75.8% 中学校 62.9%	小学校 65.6% 中学校 67.8%	①	
		三次市に愛着を感じている生徒の割合	77.8% (H24)	増加	⇒	⇒	79.7%	⇒	⇒	⇒	①
女性の活躍の促進	②-1 女性が輝くまちづくり	女性の就業率	67.1% (H22)	71.2%	68.6%	⇒	⇒	⇒	⇒	①	
		市が設置する審議会等の女性委員の割合	28.3% (H24)	40.00%	28.9%	28.9%	30.4%	31.4%	—	—	①
定住対策の推進	③-1 みよし暮らしのフォローアップ	中間支援機能を構築した組織数	0組織 (H26)	19組織	6組織	12組織	12組織	12組織	12組織	①	
		移住に関する住宅支援件数	15件 (H26)	30件	43件	53件	58件	66件	—	—	①
		就業体験ツアー等の参加者で移住した件数	—	10件(累計)	0件	0件	1件	1件	—	—	②
		移住相談件数(延数)	221件 (H26)	450件	351件	383件	302件	356件	—	—	①

■効果検証

KPIは，現時点では，11件中9件が目標達成に向けて進捗しており，目標達成に向けて概ね進捗しているが，数値目標に対してまでは，その効果が発現していない。

◇具体的な取組内容と効果検証

【基本施策①：日本一の子育て支援】

①-1 日本一の子育て支援

ア 結婚支援	○【定住・交流】新たな婚活支援事業(結婚支援グループへの活動補助，市内の若者の交流イベントの実施)
イ 出産支援	○不妊検査・不妊治療・不育治療助成事業 ○妊産婦健診助成事業，ネウボラみよし事業(パパママ教室，赤ちゃん訪問，乳児健診，11か月児相談，1歳6か月児健診，2歳児相談，3歳児6か月児健診，赤ちゃん教室，わくわく教室，個別相談，運動発達相談，子育て相談)

ウ 子育て支援	○保育の充実推進事業(病児・病後児保育事業, 保育所運営民間委託), 心と身体を豊かに育む「リズムあそび推進事業, 障害児保育事業補助金 ○放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ), 放課後子ども教室事業, 学びの支援活動推進事業 ○こども発達支援センター運営事業○保育の充実推進事業(多子世帯保育料軽減事業) ○こども医療費助成事業(乳幼児等医療費助成事業) ○乳幼児とのふれあい事業
---------	--

①-2 ふるさとを誇れる教育と特色ある教育の推進

ア 小学校1年生からの外国語教育をはじめとする特色ある教育の推進	○小中学校外国語教育推進事業, がんばる中学生の英語学習応援事業(英語検定料補助) ○子ども夢・未来塾(子どもイングリッシュキャンプや子どもの体力充実事業) ○小中学校学習環境整備事業
イ ふるさと教育の推進と学力の向上	○放課後子ども教室事業, 学びの支援活動推進事業 ○みよし版わくわく体験活動推進事業, 特色ある学校づくり創造事業

■効果検証

ネウボラみよしを中心とした子育て支援をはじめ, 保育サービスの充実, 英語力などの学力の定着とふるさと教育などの実施により, 現時点では, K P Iは5件中4件が目標達成に向けて進捗している。

【基本施策②：女性の活躍の推進】

②-1 女性が輝くまちづくり

女性が輝くまちづくり	○女性活躍推進プラットフォーム事業((女性起業支援・就業応援事業)アシスタlab.による支援, 起業セミナーの開催など), ひとり親家庭等自立応援プロジェクト事業(ひとり親家庭等入学支度金支給事業, ひとり親家庭 高等職業訓練促進費給付事業, ひとり親家庭等住居確保支援事業など) ○女性活躍推進プラットフォーム事業(女性就労促進事業) ○男女共同参画推進事業
------------	--

■効果検証

起業を含め, 働きたい女性が安心して働き続けることができるための仕組みや男女共同参画の理解と浸透など環境づくりの充実を図ることで, 現時点では, K P Iは2件とも目標達成に向けて進捗している。

【基本施策③：定住対策の推進】

③-1 みよし暮らしのフォローアップ

ア 地縁者ネットワーク化と中間支援機能の構築による定住支援	○三次市ふるさとサポーター事業, 地縁者ネットワーク事業 ○中間支援組織の構築 ○地域力向上支援事業補助金(各住民自治組織の定住対策)
イ 移住者への「住」の支援	○お試し住宅事業, 移住者住宅取得支援事業, Uターン者住宅・店舗改修事業, 定住対策事業(空き家情報バンク制度, 空き家購入サポート事業, ケーブルテレビ加入金助成), 集落支援員事業 ○定住促進住宅の有効活用
ウ 移住者への「職」の支援	○女性活躍推進プラットフォーム事業((女性起業支援・就業応援事業)アシスタlab.による支援, 起業セミナーの開催など), 認定新規就農者育成支援事業 ○地域おこし協力隊起業支援事業
エ 魅力あるみよし暮らしの情報発信	○定住促進動画制作, パンフレット・チラシ作成, 定住情報発信事業(体験ツアー・定住相談会を含む)雇用労働対策協議会(就職相談会), 企業ガイドブック, みよし就活ニュース ○地域力向上支援事業補助金(各住民自治組織が独自発行されているパンフレット等作成)

■効果検証

情報発信や社会情勢により, 移住相談件数は増加傾向にあり, 空き家情報バンク制度や移住者住宅取得支援事業など, 特に移住者への「住」支援が効果的に作用し, K P Iは4件中3件が目標達成に向けて進捗している。

まちの創生

□基本目標：「地域の価値の再発見と創造，拠点性の確保・発展」

各地域による地域まちづくりビジョンの見直しと特色ある地域づくりの支援，誰もが安心して暮らせる地域づくり，そして市内外の人たちが集いつながる場をつくる「地域の価値の再発見と創造」，三次市の可能性を模索する「拠点性の確保・発展」の2つを定め，基本施策を設定し取組を進めてきた。

基本目標	数値目標	基準値	目標値	実績値			現在値		進捗
		基準値 (実績)	目標値 (H31目標)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31(R1)実績	①目標達成・ 進捗中 ②効果不十分 ③その他 (把握困難)
地域の価値の再発見と創造，拠点性の確保・発展	まちづくりに参加している人の割合	55.6% (H24)	65.0%	⇒	⇒	54.0%	⇒	⇒	②
	備北二次保健医療圏における基幹病院数	1施設 (H26)	1施設	1施設	1施設	1施設	1施設	1施設	①

■効果検証

高齢化が進む中，まちづくりに参加している人の割合が基準値より下回っている状況にあるが，市域を越えた広域的な医療圏域における基幹病院として市立三次中央病院を維持することができており，基本目標の数値目標については，2件中1件が目標を達成できている。

□基本施策

基本施策	KPI	基準値	目標値	実績値			現在値		進捗	
		基準値 (実績)	目標値 (H31目標)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31(R1)実績	①目標達成・ 進捗中 ②効果不十分 ③その他 (把握困難)	
地域の価値再発見と暮らしの仕組みづくり	①-1 地域まちづくりビジョンの見直しと持続可能な地域づくり	地域づくりワークショップの開催	—	19件	5件	7件	11件	24件	—	①
		市内の基幹的交通手段の確保	確保 (H24)	確保	確保	確保	確保	確保	確保	①
	①-2 地域づくりを支える「つながる場」の構築	遊休施設の利活用件数	—	1件	0件	0件	3件	5件	—	①
		市内外の人々が参加したワークショップの開催	—	5件	—	3件	5件	8件	—	①
広域の中の拠点性の確保、発展と連携	②-1 広域の中の拠点性の確保、発展と連携	人口あたり医師数(人口10万人あたり)	240人 (H24)	現状維持	⇒	254.5人	⇒	—	⇒	①
		広島空港との公共交通手段	—	確保	—	確保	確保	確保	確保	①
		併設型中高一貫教育校の誘致	0校 (H26)	1校	0校	0校	誘致決定 (H31.4開校)	⇒	1校	①
		文化施設利用人数(奥田元栄・小由女美術館，市民ホールほか)	14万7,739人 (H26)	20万人	22万5,268人	20万894人	18万2,631人	22万9,697人	—	①
		2020東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致	—	誘致 (H32)	⇒	⇒	誘致決定 ※メキシコ選手団事前合宿地(2競技)	⇒ ※強化合宿(1競技)	⇒ ※強化合宿(1競技)	①

■効果検証

KPIは，10件中10件が目標達成に向けて進捗しており，目標達成に向けて全て進捗しているが，数値目標に対してまでは，その効果が必ずしも十分に発現していない。

◇具体的な取組内容と効果検証

【基本施策①：地域の価値再発見と暮らしの仕組みづくり】

①-1 地域まちづくりビジョンの見直しと持続可能な地域づくり

ア 地域まちづくりビジョンの見直しと特色ある地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域まちづくりビジョン実現事業 ○地域力向上支援事業 ○地域応援隊事業，住民自治活動の推進(まちづくりサポートセンター) ○集落支援員事業 ○地域人材育成・派遣事業
-----------------------------	---

イ 誰もが安心して暮らせる地域づくり	<input type="checkbox"/> JR芸備線・福塩線利用促進事業, 生活交通確保対策事業 <input type="checkbox"/> 公共下水道事業, 小型浄化槽設置整備補助事業 <input type="checkbox"/> 公共施設太陽光発電システム等整備事業 <input type="checkbox"/> 自主防災組織等整備事業 <input type="checkbox"/> 地域集会施設整備等事業補助金
--------------------	---

①-2 地域づくりを支える「つながる場」の構築

地域づくりを支える「つながる場」の構築	<input type="checkbox"/> ウチソト"ツナガリ"つなぐ事業 <input type="checkbox"/> 地域おこし協力隊事業 <input type="checkbox"/> 三次まるごと博物館事業 <input type="checkbox"/> 「三次地区拠点整備事業」「三次町歴史的地区環境整備事業」「三次町小路美化事業」「まちなかギャラリー促進事業」「町家再生創造拠点化事業」 <input type="checkbox"/> 公共施設等総合管理計画 <input type="checkbox"/> 地域人材育成・派遣事業
---------------------	---

■効果検証

地域応援隊と集落支援員が関わりながら、ほとんどの住民自治組織で地域まちづくりビジョンの見直しを図られた。JR三江線の廃線後の代替バスや路線バスの運行支援等、各種事業を多層的に活用し、市内地域公共交通を確保している。また、市外の方が参加されるつながる場が増えており、現時点では、KPIは5件全てが目標達成に向けて進捗している。

【基本施策②：広域の中の拠点性の確保、発展と連携】

②-1 広域の中の拠点性の確保、発展と連携

ア 市立三次中央病院を拠点とした医療の広域連携	<input type="checkbox"/> 医師確保 <input type="checkbox"/> 備北メディカルネットワークによる研修
イ 広域公共交通の確保	<input type="checkbox"/> 広島空港連絡バス運行事業 <input type="checkbox"/> 広島空港北アクセス道路(中央フライトロード)推進協議会活動 <input type="checkbox"/> JR芸備線・福塩線利用促進事業, 生活交通確保対策事業
ウ 教育の分野における拠点性の向上	<input type="checkbox"/> 併設型中高一貫教育校の誘致
エ スポーツと文化・芸術の分野における拠点性の向上	<input type="checkbox"/> 東京オリンピック・パラリンピック事前合宿支援事業 <input type="checkbox"/> 子ども文化芸術ふれあい事業

■効果検証

市立三次中央病院の医師の確保や近隣病院への派遣など備北医療圏での拠点性の維持に努めている。また、併設型県立中高一貫教育校の誘致や東京2020オリンピックメキシコ選手団事前合宿の誘致が実現・決定したことなど、KPIは5件全てが目標を達成した。

3. 効果検証（総括）

第1期の効果を国の検証区分を参考に測定すると、K P Iの75.9%が目標達成に向けて進捗している。

個別に見ると、K P Iでは、「まち」の創生及び「ひと」の創生では大きく成果が出ているものの、「しごと」の創生については、総観光客数と三次工業団地3期の分譲率で目標値を達成できたが、その他は現在のところ、目標値を達成できていない。数値目標及びK P Iともに達成率が低く、「しごと」の創生で目標に向けて進捗している状況を生み出すことは十分にできなかった。

第2期の策定にあたっては、引き続き人口減少に対する取組を継続するとともに、更に「しごと」の創生への対応が必要である。また、数値目標とK P Iの関係性を意識しながら、指標化できるものであることを前提として、基本目標及び基本施策の指標としてふさわしい数値目標及びK P Iを検討していくことが必要である。

また、第1期において地方創生に取り組むにあたり、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立し、地方への新しいひとの流れを生み出すとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すとし、「しごと」を起点にした戦略構成とすることとされており、本市においても「しごと」の創生を先頭に、創生分野ごとに基本目標を設定した。

しかし、第2期においては、地域が抱える課題、事情は様々であることを踏まえ、従来の「しごと」起点のアプローチに加え、地域の特性に応じて、「ひと」起点、「まち」起点という多様なアプローチを柔軟に行い、まち・ひと・しごとの好循環をつくり出していくこととされており、本市においても第2期三次市まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、構成を見直す必要があると考える。

本市は、「子育てしやすい三次、生きがいの持てる三次、誰もが暮らしやすい三次」の更なる充実と、2015年に掲げた「2030年に人口5万人堅持」をめざし、第1期の取組の成果を踏まえて継続を力にするとともに、新たな施策も加えることにより、将来の三次市が人口減少の緩和・抑制が図られ、人口構成のバランスが取れた持続可能なまちとなるよう、今後、第2期の戦略策定を進めていく。